

福岡市美術館 令和 7 年度事業報告

令和 8 年 3 月 1 9 日
令和 7 年度福岡市美術館協議会

Fukuoka Art Next

福岡市美術館のこれまでの取り組みを発展させ、彩りにあふれたアートの街をめざす「Fukuoka Art Next」を推進。

- ①魅力ある展示空間等の演出
- ②音声ガイド
- ③第4回福岡アートアワード
- ④今月のアート



「作品と語ろう」展示風景（①参考資料）

◆① 魅力ある展示空間等の演出

「コレクションハイライト 作品と語ろう」 (近現代美術室A、通年展示)

- ・提案競技を実施し、空間デザインの委託業者を決定。会場構成やサイン、参加型コーナーの作成を委託した。
- ・「語らい」をキーワードに11作品を展示し、隣り合う作品の共通点や違いを吹き出しやピクトグラムで目立たせ、積極的な鑑賞を促進した。
- ・キャプション等は従来より文字が大きく読みやすいものに変更した。



ピクトグラムを用いた展示



鑑賞者が感想を書き残すしかけ

◆ ②音声ガイド

スマートフォンで美術作品の音声解説等を気軽に楽しめる「音声ガイド」を開始。

Ver.1 コレクション展示室（2階）で実施中



高島市長の
「学芸員のみなさん、
ちょっと教えて！」

市長と学芸員が、展示室を巡りながら、
作品の見方について語り合う音声ガイド。



Ver.2 コレクション展示室（1階、2階）で実施中

耳で楽しむ「おもしろキャプション」

美術館職員だけが知っている作品のエピソードや、職員の超・主観的視点で作品を紹介する音声ガイド。



◆③ 第4回福岡アートアワード

福岡市内で目覚ましい活動をおこなったアーティストを対象に、作品の買い上げをもって贈賞。応募者数51組より4組を選考。
3月下旬に授賞式および受賞作品展を実施予定。

〔市長賞〕

宮本華子 《在る家の日常》

〔優秀賞〕

谷澤紗和子 《お喋りの効能》

川辺ナホ 《樂園を探して(-Et in Arcadia Ego)》

平野薫 《空の衣服 (untitled -war kimono-) 》



市長賞 宮本華子



優秀賞 谷澤紗和子



優秀賞 川辺ナホ



優秀賞 平野薫

◆ ④ 今月のアート

市長定例会見時に、隔月で、福岡拠点のアーティストの作品を掲示し紹介するとともに、市役所9階特別応接室に展示。

令和7年度
紹介アーティスト一覧

5月	岸本 爽
7月	おれちょ本多
9月	天野 百恵
11月	Ponida List
1月	われたメガネ峰太郎× しんかいの何か



令和7年11月 市長会見の様子

1 概要

2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、企画展、コレクション展、公募展）
- (2) 教育普及活動
- (3) 収集活動（購入、寄贈）
- (4) 調査・研究活動
- (5) 貸館利用
- (6) 広報・集客に関すること 等

3 施設利用状況

1 概要

■開館 1979年11月3日開館

2019年3月21日リニューアルオープン

■規模 鉄筋コンクリート 2階＋塔屋

敷地面積25,845.71㎡ 延床面積14,713.66㎡ 建築面積8,639.28㎡

■展示室

1階 東光院仏教美術室、古美術企画展示室、松永記念館室

2階 近現代美術室（A～C）、特別展示室、ギャラリーA～F

■その他施設

1階 ミュージアムホール、アートスタジオ、レクチャールーム
カフェ、ミュージアムショップ

2階 キッズスペース、情報コーナー、レストラン

■開館時間 午前9時30分～午後5時30分 月曜日休館

（7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館）

1 概要

■組織

- ・ 総館長
- ・ 館長（事業管理課、学芸課総括）

※令和 8 年 3 月現在

事業管理課長	—	事業管理係 係長 1、事務 2、会計年度任用職員 1
学芸課長	—	近現代美術係 係長 1、学芸員 3
	—	古美術係 学芸員 1、会計年度任用職員 2
	—	教育普及係 係長 1、学芸員 1、会計年度任用職員 3

■令和 7 年度予算

内容	予算額（千円）	備考
【歳出】	857,305	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費 など
【歳入】	78,181	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など

2 事業について (1) 展示活動

特別展

- ・ 珠玉の近代絵画―「南国」を描く。（令和7年10月11日～11月24日、11,146人）
- ・ ブルックリン博物館所蔵 古代エジプト―掘り起こせ、三千年の謎
（令和7年12月13日～令和8年3月8日、33,742人）

企画展

- ・ 一杉コレクション展～魅惑のインドネシア染織～
（令和7年12月17日～令和8年3月15日、コレクション展入場者数：33,533人）
- ・ 浦川大志個展 スプリット・アイランド
（令和8年1月6日～3月22日、コレクション展入場者数：24,318人）

コレクション展

- ・ 近現代美術
- ・ 古美術

公募展・貸館利用

- ・ 福岡市美術展（第57回 令和8年3月24日～3月29日）
- ・ 令和7年度貸館利用 138件 328,287人 ※令和8年1月末現在(ギャラリー1件会期中含む)/特別展示室2件含む
（参考：令和6年度利用状況 127件 139,781人 ※令和7年1月末現在/特別展示室1件(会期中)含む）

(1) 展示活動

特別展 珠玉の近代絵画―「南国」を描く。

会期	令和7年10月11日～11月24日 39日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、西日本イベントサービス
観覧者数	11,146人（有料8,186人）
内容	東西（または日本と西洋）で語られることの多い近代日本の美術を、「南」という視点から捉えた初の展覧会。明治以降の画家たちが、公的な要請や私的な目的で南へ向かい、近世までは偏った知識や想像の中にあった南をあらためて発見し、それぞれの「南国」イメージを築いた様相をたどった。60作家227点。
会期中の主なイベント	・つきなみ講座 「展覧会の見どころ紹介」10/18、11/8 ・ギャラリートーク 「絵で見る南国の植物」10/25、11/8 二又徳子氏（福岡市植物園）×担当学芸員 ・関連企画展示 「北」へのまなざし 近現代コレクション室 9/2～12/21 異国へのまなざし 古美術コレクション室 10/28～1/18



(1) 展示活動

特別展

珠玉の近代絵画―「南国」を描く。

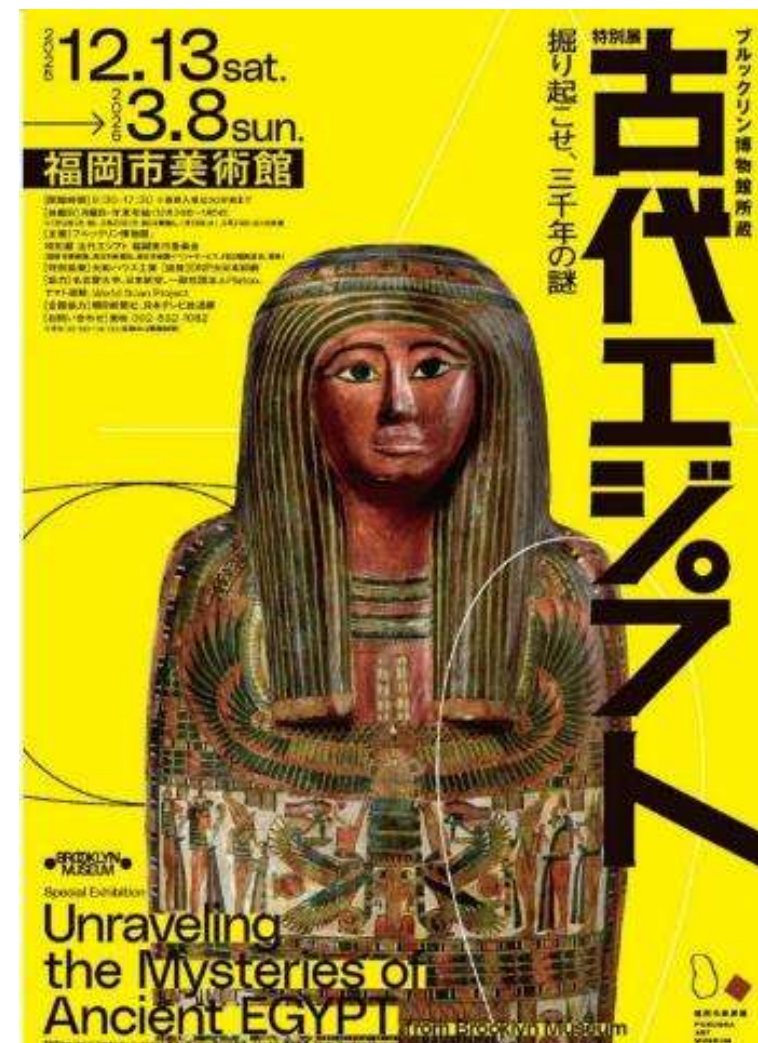


3 主な事業、取組みについて

特別展

ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト
ー掘り起こせ、三千年の謎ー

会期	令和7年12月13日～令和8年3月8日 67日間
主催	ブルックリン博物館、福岡市美術館、西日本新聞社、 西日本新聞イベントサービス、FBS福岡放送、東映
観覧者数	33,742人（有料29,480人）
内容	ブルックリン博物館が誇る古代エジプトコレクションから、彫刻、棺、宝飾品、土器、パピルス、ミイラなど約 150点 の遺物を通じて、現代人の想像を超える高度な文化を創出した人びとの営みをひも解いた。これまでのエジプト展で見過ごされてきた「知っているようで知らない事実」から最新技術を使ったピラミッドの研究成果まで、映像や音声も交えて紹介。
会期中の 主な イベント	・ 河江肖剰 ギャラリーツアー貸切ナイトミュージアム 12/12、12/13



3 主な事業、取組みについて

特別展

ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプトー掘り起こせ、三千年の謎ー



(1) 展示活動

企画展

一杉コレクション展—魅惑のインドネシア染織—

会期	令和7年12月17日～令和8年3月15日 70日間 ※会期中展示替えあり
会場	古美術企画展示室
観覧者数	33,533人（コレクション展入場者数）
内容	インドネシアは1万7000を超える島々からなる世界最大の群島国家で、鮮烈な色彩に特徴があるジャワ島のバティック（ろうけつ染めによる染織品）や、グリーンシンと呼ばれるバリ島のイカット（絣による染織品）など、染織の宝庫と呼ばれるほどバリエーション豊かな染織品で知られる。本展では一杉秀樹氏が長年にわたって収集し、令和5年度に当館へご寄贈いただいたインドネシアの染織品85点を紹介。
会期中の 主な イベント	・つきなみ講座 「インドネシアの染織 一杉コレクションの名品を語る」 1/17

Hitosugi Collection:
The Allure of Indonesian Textiles
一杉コレクション展
—魅惑のインドネシア染織—

2025
12/17 水
▼
2026
3/15 日

開館時間・・・午前9時30分～午後5時30分（入館は開館の30分前まで）
休館日・・・月曜日、年末年始（12月31日～1月4日）※12月31日（月）～1月3日（水）は閉館し、翌4日は休館。
会場・・・福岡市美術館 1階 古美術企画展示室
観覧料・・・一般200円（150円）、高大生150円（100円）、中学生以下無料
主催・・・福岡市美術館

FaN
Fukuoka Art Net

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

TEL 092-714-6051 / FAX 092-714-6071

(1) 展示活動

企画展

一杉コレクション展—魅惑のインドネシア染織—



(1) 展示活動

企画展

浦川大志個展 スプリット・アイランド

会期	令和7年 1月6日～3月22日 66日間
会場	近現代美術室B
観覧者数	24,318人（コレクション展入場者数）
内容	福岡を拠点に、デジタルネイティブの感覚を絵画で表現してきた作家、浦川大志(1994年生まれ)の、近作・新作84点を紹介した。 また、2階コレクション展示室出口の、13mの壁面において公開制作を行った。完成した大壁画は令和11年12月末まで展示する。
会期中の 主な イベント	・公開制作 1/6～1/31 ・作家にギャラリートーク 2/7 ・担当学芸員によるギャラリートーク 2/21



(1) 展示活動

企画展

浦川大志個展 スプリット・アイランド



(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



新収蔵品展（近現代美術）

3/25～6/1

近現代美術室A



第3回福岡アートアワード
受賞作品展

3/29～6/1

近現代美術室B



懐かしの風景～ニッポンの夏～

6/12～8/31

近現代美術室A



飛躍のためのドローイング

6/12～8/31

近現代美術室B



北へのまなざし

9/2～12/21

近現代美術室A

(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



菊畑茂久馬展

9/2～11/3

近現代美術室B



奈良原一高「消滅した時間」

11/5～12/21

近現代美術室B



美術館でお花見を！

12/23～R8/3/22

近現代美術室A



【企画展】浦川大志個展
スプリット・アイランド

1/6～R8/3/22

近現代美術室B



令和7年12月

田中千智 壁画展示

～令和7年12月末まで

コレクション展示室最終壁面

浦川大志壁画展示

～令和11年12月末まで

コレクション展示室最終壁面



令和8年1月

(1) 展示活動

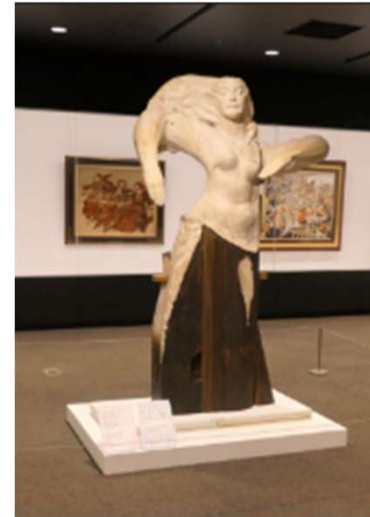
コレクション展 古美術



東光院のみほとけ

通期

東光院仏教美術室



夏休み子ども美術館
みる見る 聞こえる 音楽会

6/25～8/24

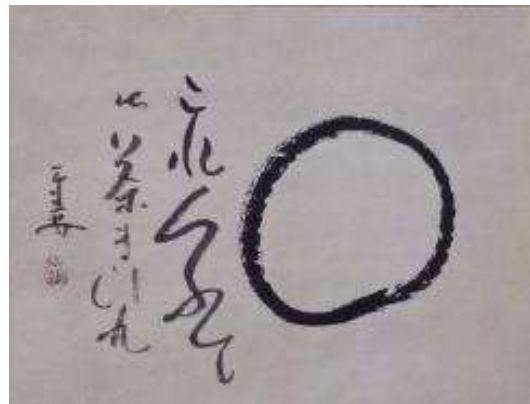
古美術企画展示室



九州の古陶に魅せられた
田中丸善八の眼

4/23～6/22

古美術企画展示室



仙厓展

8/26～10/19

古美術企画展示室



大名の美術

10/21～12/14

古美術企画展示室

(1) 展示活動

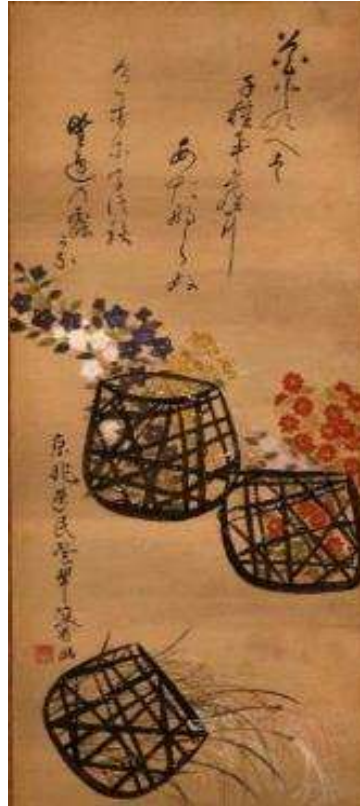
コレクション展 古美術



春の名品展

3/25～6/1

松永記念館室



秋の名品展

8/19～10/26

松永記念館室



異国へのまなざし

10/28～R8/1/18

松永記念館室



松永耳庵
夏の茶事

6/3～8/17

松永記念館室



古代エジプトの染織
ーコプト裂ー

R8/1/20～3/22

松永記念館室

(1) 展示活動

公募展

- ・ 第57回福岡市美術展（令和8年3月24日～3月29日）

内容	・ 市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催する公募展。 ・ 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門について一般公募。
実施状況	・ 出品点数 685点 ・ 特別賞など入賞 73点予定



- 《参考》 ・ 第56回福岡市美術展(令和7年3月25日～3月30日)

実施状況	・ 出品点数 656点 ・ 入選 320点、特別賞など入賞 70点 ・ 観覧者数 3,705人
------	---

第56回 大賞
日本画 部門
園田 瑞穂 《ずっとここにいる》

(2) 教育普及活動

教育普及活動について

「アートと生きる」を活動方針に、展覧会を見るだけではない、利用者がより能動的な学びと楽しみを得られる活動を「教育普及活動」として行っている。

また、美術館に来にくい、あるいは来られない人も「利用者」として考え、美術を楽しむ企画を実施。

主な取組み

- ・ミュージアムウィーク2025
- ・こども・家族向けのプログラム（夏休みこども美術館、ファミリーDAY、ベビーカーツアー等）
- ・大人向けプログラム（ギャラリーツアー、つきなみ講座、いきヨウヨウ講座）
- ・アウトリーチプログラム（どこでも美術館アウトリーチ[遠隔地の学校、公民館等]）
- ・学校向けプログラム（スクールツアー、どこでも美術館ティーチャーズプラス）
- ・ボランティア活動（令和7年度新規ボランティアの活動開始）
- ・やさしい日本語ツアー
- ・バリアフリーギャラリーツアー
- ・**▼（拡充）ミュージアム3館での市立小学校の鑑賞受入れ事業**

(2) 教育普及活動

ミュージアムウィーク2025

期間	令和7年5月17日～5月25日
内容	「国際博物館の日」を記念し、市内の20の美術館・博物館が、期間中にさまざまな催しを実施するというもの。毎年紙でのスタンプラリーを実施しているが、本年度は紙媒体とオンラインのQRコードを併用したスタンプラリーを実施。
主なイベント	・講演会 「鉛・埃・記憶ー 作品の『保存修復』がめざすもの」 講師：田口かおり（京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授） (5/17 参加者数：83人) ・つきなみ講座スペシャル 「九州の古陶に魅せられた田中丸善八の眼」 (5/19 参加者数：58人) ・初めてのベビーカートツアー (5/21、22 計2回 参加者数：こども10人 大人13人) ・ボランティアによるギャラリートツアー (5/20～5/25 計16回 参加者数：39人) ・建築ツアー (5/24 参加者数：21人)



建築ツアーのようす



初めてのベビーカートツアーのようす

(2) 教育普及活動

こども・家族向けプログラム

夏休みこども美術館2025「みる見る きこえる 音楽会」

期間	令和7年6月25日～8月24日 期間中の中学生以下の来館者数：2,660人
内容	毎年開催する子ども向けプログラム。 令和7年度は「音楽」をテーマにコレクション展示室・ 古美術企画展示室にて所蔵品を展示。章パネル、キャプ ションを日・英語併記で展示室に設置。展覧会に関連 して、ワークショップ、ギャラリートツアーforキッズ！な ど、3つの関連プログラムを実施した。「夏休みこども としょかん」では展示室内にコーナーを設け展示に関連 する図書を紹介した。
主な イベント	・夏休みこどもとしょかん テーマに合わせた絵本23冊を選定、設置。絵本リストを配布 ・ワークショップ「描いてみよう！音楽のせん いろ かたち」 (7/27 参加者数：子ども12人 大人10人) ・ワークショップ「みてみて つくって 音楽会」 (8/3 参加者数：子ども31人 大人31人) ・ギャラリートツアーforキッズ！ (8/19～24の午前・午後 計12回 参加者数：子ども53人)



展示のようす



ワークショップ

(2) 教育普及活動

ファミリーDAY2025 みて、きいて、はなして、つくって 家族で楽しむアートミュージアム

期間	令和7年11月2日～11月3日 期間中の参加者数：延べ2,161人（子ども1,185 大人976）
内容	家族で美術と美術館を楽しんでもらうため、期間中、館内各所でワークショップ等を実施する企画。本年は当館の建物を設計した前川國男生誕120周年を記念し、美術と建物をテーマに開催。すべてのプログラムを美術館内で実施。予約不要のプログラムを2日間とも開催した他、参加人数を設けたワークショップについては事前応募とした。なお、受付スタッフやワークショップスタッフに当館ボランティアおよび学生ボランティアが従事した。
主なイベント	【事前応募なし】※参加者数は子ども・大人を合わせた数 ・ワークシート 「かいとうキッズ 美術館の謎をとけ！」／「かいとうキッズ たてものにかくされた記号をさがせ！」（11/2、3 参加者数：932人） ・ワークショップ 「ミニミニワークショップ」（11/3 参加者数：187人） 「ぬってきってはって 作品であそぼう」、 「ぬって くみたて たてものキューブ」（11/2、3 参加者数：855人） 【事前応募】 ・ワークショップ 「美術館のカケラで作ろう！みんなの もこもこミュージアム」（11/2、3／1日3回 参加者数：158人） ・ギャラリートツアー 「初めてのベビーカーツアー」（11/3 参加者数：29人）



かいとうキッズ 美術館の謎をとけ！



ぬってきってはって 作品であそぼう



みんなの もこもこミュージアム

(2) 教育普及活動

大人向けプログラム

ギャラリーツアー

内容	ボランティアが来館者に向け所蔵作品を3点紹介する対話型ギャラリーツアー。 1日2回（11時～、14時～）実施。
----	--

つきなみ講座

期間	毎月1回 参加者数：507人 ※1月末時点
内容	毎月1回学芸員をはじめとした美術館職員が、自身の研究や取組、興味について一般向けに話す講座。

いきヨウヨウ講座「アートとヨガで心と体をすこやかにーミュージアムヨガ」

期間	令和8年3月16日 参加者数：20人定員（予定）
内容	65歳以上を主な対象としたワークショップ。令和7年度は高齢者にも安心して取り組めるヨガを展示室で行い、運動と鑑賞を連動させた心身を整えるプログラムを実施。

(2) 教育普及活動

アウトリーチプログラム

どこでも美術館 アウトリーチ

期間	令和7年6月～9月、令和8年1月、2月
内容	美術館に来にくい、あるいは来られない子どもや高齢者のために、学校や公民館、病院などに、所蔵品の複製画などの教材を持ち出し、鑑賞・制作活動を行うプログラム。
実施数	・ 特別支援学校7校、院内学級2校 児童・生徒数 265人 教員113人 ・ 公民館等（主に高齢者対象）5件 126人 （令和8年1月末時点）



特別支援学校へのアウトリーチ



公民館での開催のようす

(2) 教育普及活動

学校向けプログラム

スクールツアー

内容	ボランティアによる学校向け対話型鑑賞ツアー(幼稚園・保育園～大学および放課後学級等)		
実施件数	市立小学校 33件(23校) 2,422人 (市内小学校を対象とした取り組み拡充については後掲) 市立小学校以外の小中学校等 4件(4校) 235人 高等学校、専門学校、大学等 8件(8校) 230人 幼稚園、その他(放課後学級等) 6件 176人		

※児童・生徒・学生数 ※1月末時点

どこでも美術館 ティーチャーズプラス

内容	学校等に「どこでも美術館」の教材を貸し出し、授業に活用してもらうプログラム。		
貸出件数	小学校～大学 7件 269人		

※1月末時点



《韃靼人狩獵図屏風》複製



日本画画材ボックス

(2) 教育普及活動

やさしい日本語ツアー

期間	令和8年3月29日（予定）
内容	在住外国人向けにツアーを実施。コレクション作品を「やさしい日本語」を使用して鑑賞する。 ※1月末時点、未実施



やさしい日本語ツアー

バリアフリーギャラリーツアー

期間	令和7年11月29日、令和8年2、3月実施予定
内容	視覚障がい者、聴覚障がい者、車いす利用者のためのコレクション展示ギャラリーツアーを実施。 ・視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー（実施日：11/29 参加者数：11人） ・聴覚障がい者のためのおしゃべり鑑賞ツアー（実施日：1月末時点、未実施 参加者数：未実施） ・車いす利用者のためのゆったり車いす鑑賞ツアー（実施日：1月末時点、未実施 参加者数：未実施）



視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー

(2) 教育普及活動

ボランティア活動

内容

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始。

現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。

今年度は昨年度に続き館外研修、交流会などを実施した。

また令和6年度7～8月に募集した新規ボランティアを対象に、同年10月以降に研修を実施。令和7年4月より新規ボランティアとして64人が活動開始。

各ボランティア 在籍数

- ・ ギャラリーガイドボランティア 99人
- ・ 新聞情報ボランティア 51人
- ・ 図書整理ボランティア 19人
- ・ 美術家情報整理ボランティア 16人
- 計 185人



新聞情報と図書整理ボランティア活動のようす



出光美術館門司にて実施したボランティア館外研修

(2) 教育普及活動

▼ (拡充) ミュージアム3館での市立小学校の鑑賞受入れ事業

スクールツアー (対話型アート鑑賞)

【内容】市立小学校がミュージアム3館（福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館）を利用する際の貸切バス代を補助。市内小学校の児童に対して、ボランティアによる対話型鑑賞を実施。



対話型アート鑑賞の様子

市立小学校	令和5年度	11件 (8校)	727人
	令和6年度	23件 (20校)	1,234人
	令和7年度	33件 (23校)	2,422人

令和7年度は1月末時点実績

市内小学校受入れ強化のため対話型鑑賞や所蔵品についてのボランティア研修を実施

7月、9月 所蔵品についての講義 (全2回)
12月、1月 対話型鑑賞についての講義・実技研修 (全3回)



外部講師による講義と実技研修を実施

(3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

◆新規収集

- ・ 作者不詳 《秋景山水図》 朝鮮王朝時代（15C後半）
- ・ 松永安左エ門 [耳庵] 《竹一重切花入 銘「芝垣」》 1963年
- ・ 12代・佐藤助九郎 [助庵] 《志野茶碗 銘「白山」》 1963年
- ・ 堅山南風 《寝美人》 1919年
《インドカルカッタノヒトビト》 他、インド素描 6点 1917年
- ・ 高橋渡 《（題不詳）》 1937年頃
《花籠のある風景》 1937年

寄贈

- ◆古美術 19点（絵画、染織、研究資料）
- ◆近現代美術 73点（油彩、版画、水彩、写真等）

※この他に、近現代美術の移管3点

(3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

・ 古美術 3 点（絵画、陶磁、其他）



秋景山水図

朝鮮王朝時代 15世紀

絹本墨画淡彩 掛幅装



松永耳庵作
竹一重切花入 銘「芝垣」

昭和38年（1965）

竹製



佐藤助庵作
志野茶碗 銘「白山」

昭和38年（1965）

施釉陶器

(3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

・近現代美術 2 作家 9 点（日本画、素描、写真）



堅山南風

《寝美人》
1919年

日本画



堅山南風

《インド素描》
(6点) 1917年

素描



高橋渡

《(題不詳)》
1937年頃

写真



高橋渡

《花籠のある風景》
1937年

写真

(3) 収集活動（購入、寄贈）

寄贈

・ 古美術19件（絵画、染織、研究資料）



望月玉川画、仙厓義梵
賛《富士画賛》

江戸時代 19世紀

紙本墨画、32.5×53.8



インドネシアの女性の
ブラウスほか、一式

1950－1960年代

合成繊維ほか



カンボジアの緯紋織文
様見本裂、13枚

2025年

絹、100×100cm程度

(3) 収集活動（購入、寄贈）

寄贈

・近現代美術73点（油彩、版画、水彩、写真等）



小林健二

《ヨモツカド》
1990年

油彩



池田満寿夫

《私の処女10》
1958年

版画



瑛九

《田園風景》
1938年

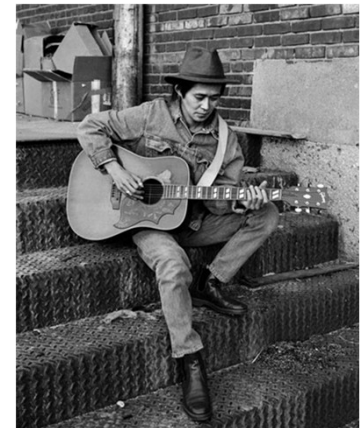
水彩



田中繁吉

《（題不詳）》
1930年代

油彩



鋤田正義

《忌野清志郎》
1991年

写真

(4) 調査・研究活動

紀要の発行

『福岡市美術館研究紀要』 第14号 (令和8年3月発行)

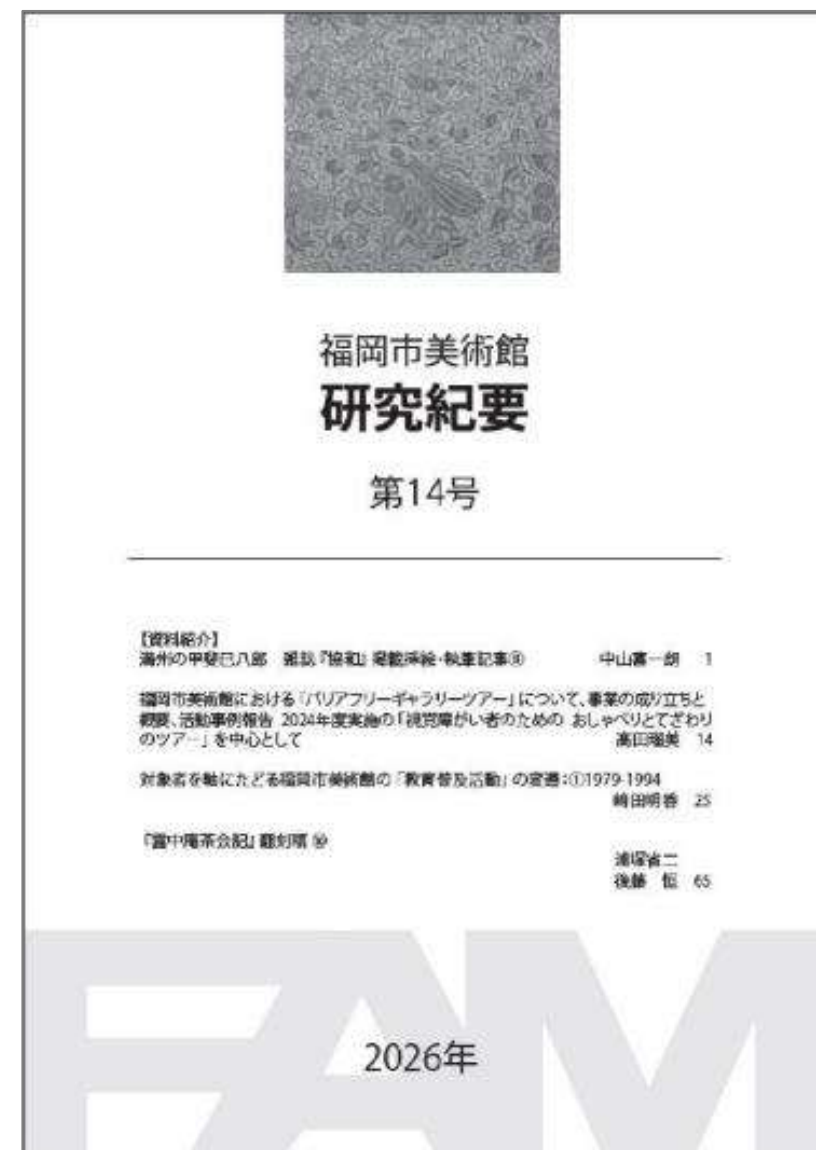
【資料紹介】

満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』 掲載挿絵・執筆記事⑧
総館長 中山 喜一郎

福岡市美術館における「バリアフリーギャラリー
ツアー」について 学芸課 高田 瑠美

対象者を軸にたどる福岡市美術館の「教育普及活動」
の変遷：①1979-1994 学芸課 崎田 明香

『雲中庵茶会記』翻刻稿 ⑩ 浦塚 省二
学芸課 後藤 恒



(5) 貸館利用

貸館利用

【展示室】

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー（6室）
特別展示室を貸出（年2回募集、1週間単位での利用可）
- ・ 令和7年度貸館利用 138件 328,287人

※令和8年1月末現在(ギャラリー1件会期中含む)/特別展示室2件含む

(令和6年度貸館利用 127件 139,781人 ※令和7年1月末現在/特別展示室1件(会期中)含む)

【ホール等】

- ・ 文化芸術・学術に関する講演会や講座、ワークショップ、
イベントなどの利用に際してミュージアムホール、
レクチャールーム、アートスタジオのほか、
ロビーや屋外(アプローチ広場・エスプラナード)を貸出
- ・ 令和7年度利用状況 618件 37,705人 ※令和8年1月末現在
(令和6年度利用状況 564件 32,179人 ※令和7年1月末時点)

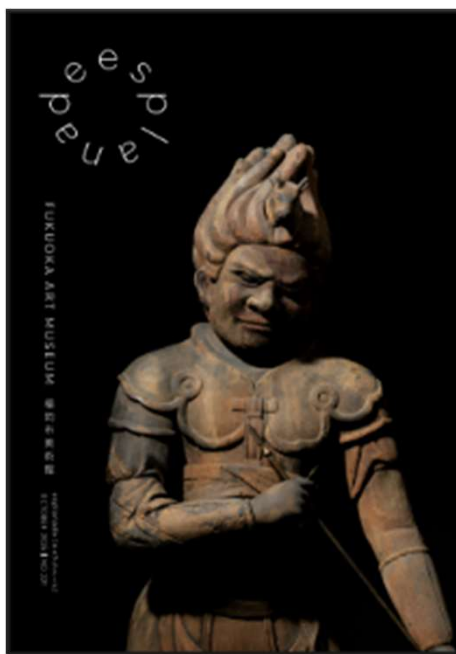
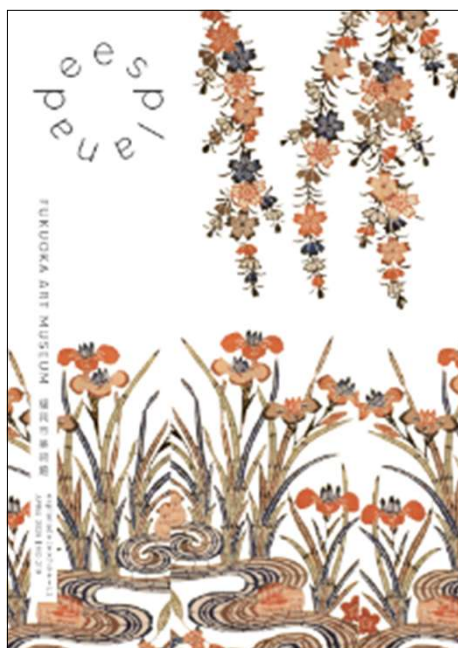


福岡アジア文化賞
FUKUOKA PRIZE

(6) 広報・集客に関すること 等

広報活動

- ・季刊誌「エスプラナード」を年4回発行
- ・展示・イベント実施等に関する報道・出版各社への情報提供



(6) 広報・集客に関すること 等

広報活動

- ・ HPブログや各種SNS（Facebook、X、Instagram）による情報発信
- ・ SNS広告の実施
- ・ 媒体広告の実施



その他

- ・ デジタルサイネージの運用

アプローチ広場に設置されているデジタルサイネージにて市美術館のプロモーション動画、市美術館で開催する特別展の情報等を発信。



(6) 広報・集客に関すること 等

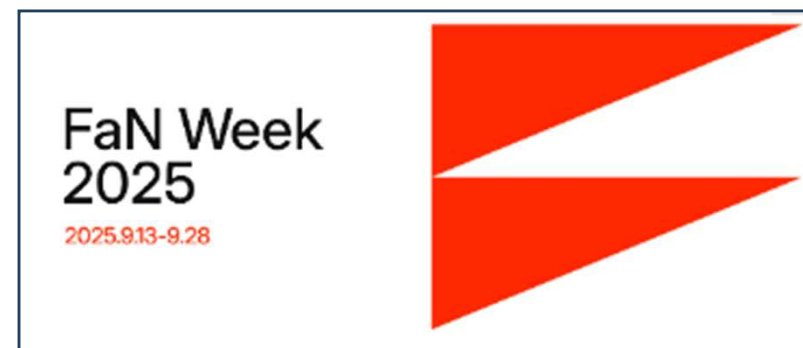
集客事業

- ・ 展示以外でも美術館を気軽に利用してもらえるよう、WSやコンサートを実施。
※ 美術館PFI事業を担う福岡アートミュージアムパートナーズ(株)主催
- ・ 令和7年度は7件のイベントを実施。
 - 令和7年 8月：第十七回 桂春蝶独演会 落語で伝えたい想い 第十一作 「パラオの星」
 - 令和7年10月：ワークショップ リトルダンボール迷路を作ろう！
 - 令和7年11月：レガシーピアノ 一般開放
 - 令和7年12月：親子で楽しむクリスマスコンサート Happy Christmas Time!
 - 令和8年 1月：ジャズを聴きたくて New Year's Special LIVE 塩谷 哲の世界
 - 令和8年 1月：美術館×万能グローブガラパゴスダイナモス
『アート×演劇』ワークショップ—鑑賞×創作で”観る“を“表現”へ
 - 令和8年 2月（予定）：
万能グローブガラパゴスダイナモス 周年記念公演 第34回公演 「西のメリーゴーランド」
- ・ グランドピアノ「レガシーピアノ」の運用



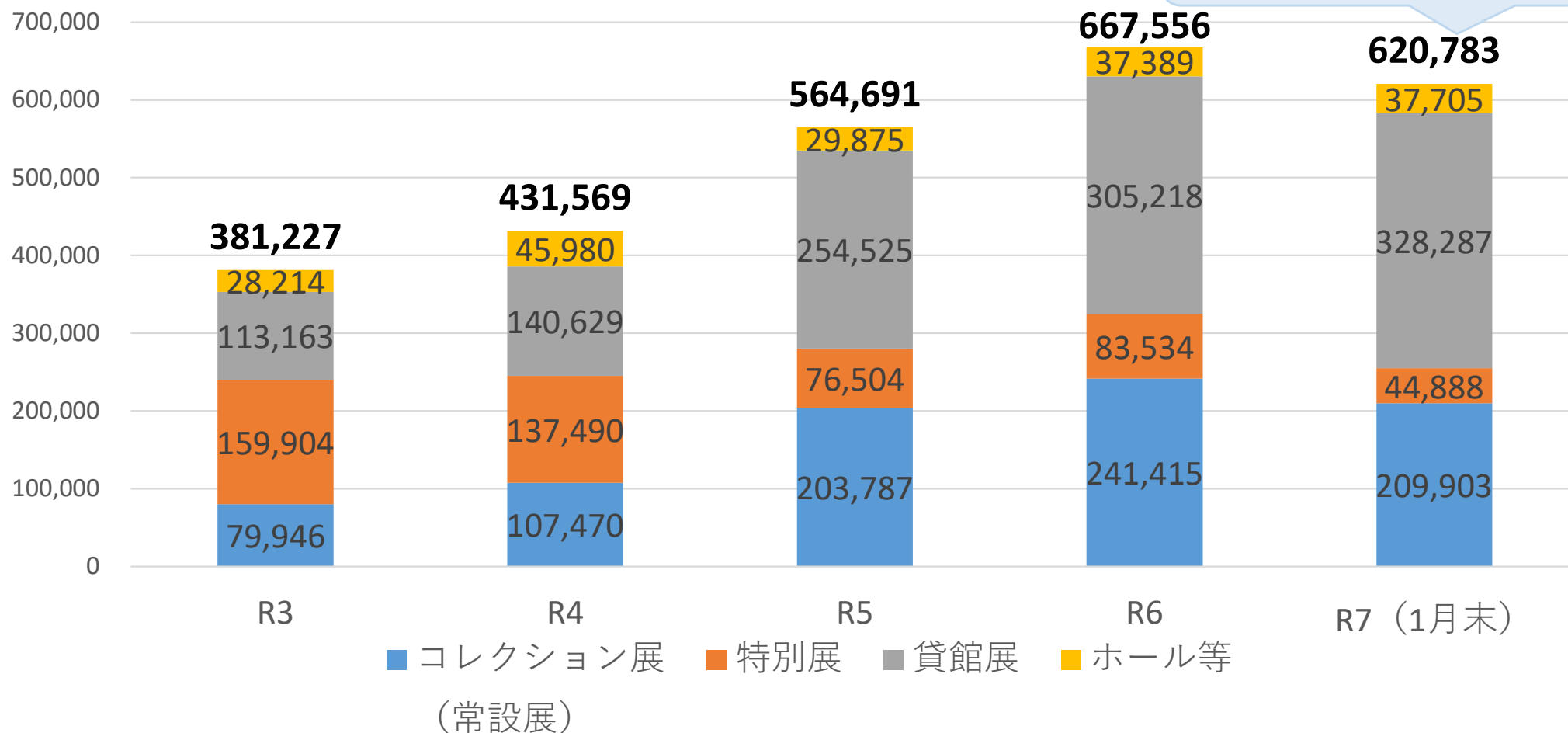
その他（連携・協力事業等）

- ・ 福岡ミュージアムウィーク2025
- ・ FaN Week 2025



3 施設利用状況

施設利用者数の推移



※新型コロナウイルスの影響によりR3.5.12～6.20、8.9～9.13は臨時休館
ただし、一部展覧会及びイベントのみ休館中も開催

福岡市美術館 令和 8 年度事業計画

令和 8 年 3 月 1 9 日
令和 7 年度福岡市美術館協議会

1 観覧者目標

2 令和8年度予算

3 主な事業、取組みについて

▼（拡充）魅力ある展示空間等の演出

展示（特別展・企画展・コレクション展）

教育普及活動

ほか

1 観覧者目標：52万人

(参考：実績) R7：583,078人(1月末)、R6：630,617人、R5：534,816人

2 令和8年度 組織・予算

■ 組織

・総館長 ・館長（事業管理課、学芸課、課長※アートのまちづくり推進 総括）

事業管理課長	—	事業管理係 係長1、事務2、会計年度任用職員2
学芸課長	—	近現代美術係 係長1、学芸員4
	—	古美術係 学芸員1、会計年度任用職員2
	—	教育普及係 係長1、学芸員1、会計年度任用職員3
課長※アートのまちづくり推進	—	係長2、係員1、会計年度任用職員1

令和 8 年度予算

内容	予算額（千円）	備考
【歳出】	980,551	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費 など
【歳入】	82,720	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など

3 主な事業、取組みについて

▼（拡充）魅力ある展示空間等の演出

- ・コレクションハイライト（近現代美術）において実施。
- ・空間デザインを施す展示室を、令和 7 年度の近現代美術室Aから、A、C、ロビーへと拡充する。



3 主な事業、取組みについて

特別展 小磯良平展 幻の名作《日本髪の娘》

会期	令和8年4月18日～6月21日 56日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
内容	日本を代表する近代洋画家のひとり、小磯良平（1903-88年）の画業を紹介する、福岡では35年ぶりの回顧展。 今回は、韓国国立中央博物館所蔵の《日本髪の娘》が約90年ぶりに日本へ里帰りを果たす。幻の名作とされてきた本作と、神戸市立小磯記念美術館のコレクションを中心とした約100点の作品で、小磯が追及したモダンな人物表現の魅力を紹介する。
会期中の主なイベント	・ 記念講演会 「幻の名作《日本髪の娘》との出会い」 岡泰正（神戸市立小磯記念美術館長） 5/16 ・ 担当学芸員によるギャラリートーク 4/25、6/6



小磯良平展
幻の名作《日本髪の娘》
KOISO RYOHEI: Illusory Masterpiece Girl with a Japanese Hair Style
2026. 4/18 Sat. → 6/21 Sun.
福岡市美術館 2階 特別展示室
9:30 - 17:30 休 日・祭日
福岡市美術館 FUKUOKA ART MUSEUM FaN

3 主な事業、取組みについて

特別展

トーベとムーミン展～とっておきのものを探しに～

会期	令和8年7月4日～8月30日 50日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、九州朝日放送
内容	世界中で愛されているムーミンの原点は、1945年、終戦後のフィンランドで出版された物語『小さなトロールと大きな洪水』である。本展は、このムーミン小説の第1作目の出版80周年を記念する展覧会。 ヘルシンキ市立美術館の全面協力を得て、時代の波に翻弄されつつも活躍した、画家トーベ・ヤンソンの軌跡を、油彩画、風刺画、ムーミンの小説やコミックの原画など約300点を通して振り返る。 子供から大人まで共感を得ることができる夏休み企画。
会期中の主なイベント	未定



3 主な事業、取組みについて

特別展

カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語

会期	令和8年10月17日～12月20日 56日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、
内容	インドで生まれた更紗は衣服や宗教儀式、室内装飾などさまざまな用途に使われてきた。貿易を通して他国の要望に応じたデザインを自在に展開しつつも、力強いインドの美意識を内包するインド更紗は、装飾美術から服飾まで世界中のあらゆる芸術に多大な影響を与えた。本展は、インド国内向けに作られた最長約8メートルの完全な形で残る更紗の優品から、アジアとヨーロッパとの交易で生み出されたデザインを伝える掛布や服飾品、そして国内のコレクションも交えた日本での展開を伝える貴重な作品を紹介。世界屈指のコレクター、カルン・タカール氏のコレクションを日本で初めて紹介するもの。
会期中の 主な イベント	講演会等



3 主な事業、取組みについて

企画展

カンボジアの染織

会期	令和8年12月2日～令和9年2月7日	53日間
会場	古美術企画展示室	
主催	福岡市美術館	
内容	カンボジア王国は、インドシナ半島の国々の中でも、すぐれた染織を生んできた国である。なかでも最も知られているのが、繊細な絹の絣であろう。その発色の美しさ、括り技術の精密さは、アジアの絣の中でも群を抜いている。絞りも簡素でありながら、幾何学的模様から絵画的表現がなされているものまで、独自のものがみられる。 本展では福岡市美術館収蔵品に他館からの借用品を加えて、絹絣を中心とするカンボジア染織の魅力を紹介する。	
会期中の 主な イベント	講演会等	



3 主な事業、取組みについて

企画展

山内光枝展(仮称)

会期	令和8年9月8日～12月20日 90日間
主催	福岡市美術館
内容	福岡を拠点に、海に生きる人の生活や文化に焦点を当てた作品を制作している作家、山内光枝(1982-)の個展を開催する。 様々な表現方法によって海女の姿を見つめ、海と人との関係をとらえてきた山内の映像作品を中心に紹介する。
会期中の 主な イベント	ギャラリートークなどを予定。



山内光枝 《つれ潮》 2018年

3 主な事業、取組みについて

コレクション展 古美術



やまと絵の世界

2027/2/9～

古美術企画展示室



春の名品展

3/24～5/31

松永記念館室



本多コレクション
インドシナ半島の古陶磁

5/27～7/26

古美術企画展示室



仙厓展

7/29～11/29

古美術企画展示室



松永耳庵 冬の茶事

10/20～2027/1/10

松永記念館室 53

2 主な事業、取組みについて

コレクション展 近現代美術

▼（拡充）魅力ある展示空間等の演出



コレクションハイライト

通期

近現代美術室 A、ロビー、C



第4回福岡アートアワード
受賞作品展

3/28～6/21

近現代美術室B



新収蔵品展

3/24～6/21

近現代美術室A

3 主な事業、取組みについて

コレクション展 近現代美術



生誕150年 詩と絵の旅人—吉田博

9/1～12/20

近現代美術室A



没後90年 富田溪仙

12/22～3/22

近現代美術室A



鋤田正義
ファインダー越しの光

12/25～3/22

近現代美術室B



夏休みこども美術館2026
宇宙にいきたい

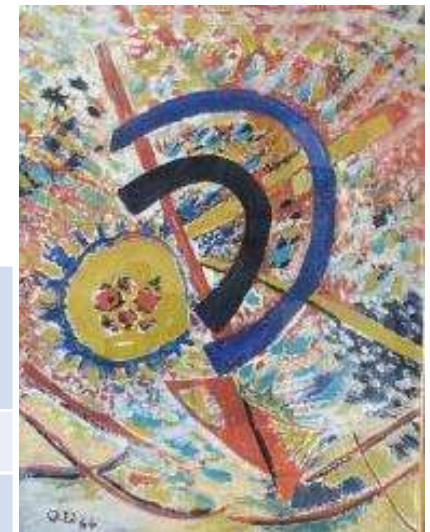
6/30～8/30

近現代美術室A・B

希望は自由なる組織に
—デモクラート美術家協会の作家
たち

12/25～3/22

近現代美術室B



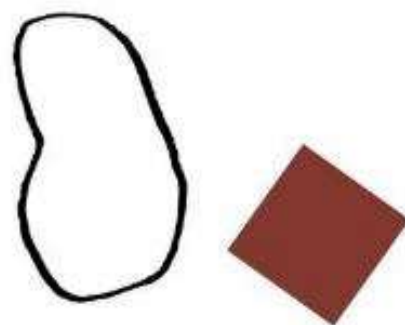
3 主な事業、取組みについて

教育普及活動での主な取組み

- ・ スクールツアー（対話型アート鑑賞）
（継続）ミュージアム3館での市立小学校の鑑賞受入れ事業
- ・ 福岡ミュージアムウィーク2026（5月16日～24日予定）
- ・ 夏休みこども美術館2025（6月30日～8月30日）
- ・ ファミリーDAY（11月3日）
- ・ つきなみ講座（毎月1回）
- ・ いきヨウヨウ講座（令和9年3月）
- ・ どこでも美術館（アウトリーチ[7月～9、1、2月]、
ティーチャーズプラス[通年]）
- ・ バリアフリーギャラリーツアー（11、12月頃予定）
- ・ ボランティア活動（[通年]）
- ・ 多文化共生プログラムおよび高齢者、家族向けのプログラムは引き続き実施予定
- ・ 他の機関、施設との連携



対話型アート鑑賞の様子



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM